

刊夕 日十二月七

常磐毎日新聞

定価 一月五拾銭 郵費五拾銭
 廣告料 五拾二字 行金五拾銭
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社

旅に求めて

平署
千代田金平

△ (三)

消防豫算は年二百二十圓で、出動手當は一文もなく組員は草鞋の果迄一切を自辨して居る。ポンプは腕用が三臺、總裁一名、顧問一名、組頭一名、副組頭一名、小頭十五名、消防手は百八十名で一組一部制。貯水池が二十八、火の見櫓が二天然用水二、灰塵器マツチ箱用水罐を各戸一個宛を配置してある。施設としてはさしたる事もないが、精神消防に重点を置き、主婦巡視の制を設けて毎月一回毎戸の警備状況を嚴重審査し、成績優良な者に對しては賞品を贈り表彰するとか或は風紀改善同盟會を組織し、隔月夜間を利用し公會堂に、寺院に、修養會を開催、消防組本來の使命たる警火思想と相俟つて忠告報告、犠牲奉公等の思想の涵養に努むる。か、早起會、敬老會、慈善救濟、青年男女にして村以外に宿泊の場合には必ず届出でしめ、萬一無斷外泊等の場合は規約に基く嚴重な制裁を科す等、

其の一切を消防が主體となり、其の實を擧げつゝある殊に風俗改善同盟會の如き消防組が主體となり、全村民が會員になつて居る等、實に消防萬能であり、又消防なるが故に其の實を擧げて居る。

其の結合、統制、功績只驚くの外はない。特殊部落として自己を卑下した捨鉢的な傳統的精神は極端なる紊亂荒廢を續けて來たが、それも精神消防の力によりて甦生し、本年平組と同時に内務大臣より、晴れの表彰旗を授與されたのである。

▽ △

車を飛ばして少年消防の發祥地 富塚村に向つた。空には千切雲が二つ三つ漂つて居る丈で、絶好の視察日和だ。

此處も農村消防で三方原の南部濱松市の南北に隣接してある。戸數は六百三十五戸、人口は三千七百五十一人。此の村の消防組設置は明治十六年十二月、私設消防組を設置し、明治二十九年公設消防組となす。現在二部制にして定員は百六十名、役員は改選、消防手の任免は總會に於て行ひ之を内申する方法である。

器機器具としては腕用二臺、其他嚮口指又等の外に平均一八石に當り、其他に天然用水河川堰止六ヶ所がある。各戸には灰捨場、マツチ箱、應急袋等各一戸宛配布されて居る。

林野火災用華が備へられて居る事などは思ひつきた。全村に半鐘が二ヶしかないのは物足りない感じがする書類簿冊は沿革誌、服務規約、勤務日誌、水理圖、器具臺帳、建物臺帳、組員名簿、手當支拂簿、給貨品臺帳を主要簿冊とし、補助簿冊には消防組一覽表、火

【朝】味噌汁、小松菜、小付いんげんから煮
 【書】カレー煮、野菜
 【晚】清汁、いかのあしつ、くねあげ、さきねぎ、酢の物、さきねぎ、か茗荷

防組規約、火防組備臺帳、規約簿、係員名簿、組員字別名簿、功勞者名簿、視察員芳名簿、夜警日誌臺帳、火災相互救濟組合加入者臺帳、其他であつて、施設としては貯水池三十六ヶ所、水量一一、二八〇石で一戸

文藝募集

平均一八石に當り、其他に天然用水河川堰止六ヶ所がある。各戸には灰捨場、マツチ箱、應急袋等各一戸宛配布されて居る。

開店拾週年感謝大賣出し

10間

7月21日 8月1日
 7月7日 7月30日

感謝 洋品部開店十週年を迎へまして吾れら店主店員一同今過去十年を顧み見て、かくも多大なる御後援御引立に對して今さら強く感謝の念にうたれる次第です。今度の賣出しは全く多年の御厚情に對する感謝の賣出しで御座います。特價品は原價以下普通品でも正札の一割二割三割安に致しました。御買逃しのなきばんに抜きでお願ひする事に致しました。御買逃しのなきばんに抜きでお願ひする事に致しました。御買逃しのなきばんに抜きでお願ひする事に致しました。

座布團カバ(大判)・一七	レリススカート・五〇	本絹 ネクタイ・五〇
本毛子供腹巻・二〇	バラソル二重張・二〇	白キヤラコワイシヤ・九〇
ガーゼ肌着・二重・二〇	ボフリン小兒服・二五	靴下箱入(半打入)・六〇
ボフリンカツポリー着・四五	リンネツトシヤツ	本絹靴下(一足)・五〇
トブラルニ家庭服・四五	縮折給ワイシヤツ	タオル箱入(三本入)・二二
ボイルスカート・三五	長	タオル敷布(上生地)・四五

大黒屋洋品店

平野三丁目 電話 116

株(債)券

株式賣買ノ忠實ナル御相談相手トシテ御利用下サイ
 尙御希望ノ方ニハ當店獨特ノ「野線上ヨリ見タル新東觀測」ヲ御送シマス是非一度御覽ヲ願ヒマス
 株式債券現物賣買

丸井株式会社

外務員募集
 平町田町 七十三
 電話 四六番

吉田眼科病院

平野屋町電話六八番
 醫學士 吉田久雄

貴方の御家庭に

お手不足は御座いませんか
 本會を御利用下さい
 直に家政婦を派出します

親切 料金は極めて低廉で
 妊産婦の御家庭 留守居番
 御病人の付添 年寄やお子さんの付添
 炊事や雑用

派出多忙に付會員至急募集

平町紺屋町二(電話二二番)
 上原家政婦會
 會主 産婆 上原通子

正しき選挙は

立憲政治の根幹

けふ肅正委員が神前に

運動の普及徹底を宣誓

於て謹みて宣誓す

肅正委員(一)

△植田町 松本好富 馬上
守一雲 鷺清昇 小川福太郎
△北郷繁七 渡邊重三郎
△赤津甚吾 小野忠衛
△高木一郎 大平菊藏
△佐藤丑太郎 古川慶福
△稲田善三郎 豊田丑松
△豊田豊 渡邊國之助
△坂本龜太郎 鈴木佐忠
△野福七 丹葉芳次 島田竹松
△宮川由助 清水治雄
△長瀬米次 澤田桂喜
△生駒康清 木村照龍
△高木喜興枝 橋與次郎
△小澤利一 鈴木利男 水野兼吉
△鈴木權 古川權左衛門

選挙の厳正と浄化を圖る目的達成に飛躍する平町の選挙肅正委員は本日午前十時より縣社子歙倉神社に參集し縣知事よりの辭令傳達式を舉行した。定刻轟く太鼓の音を合圖に山部神官神前近く參進、嚴かに祝詞を奏上し既報六十名の委員及び幹事の役場吏員六名に青沼町長より辭令を傳達して會長の資格を以つて左記宣誓文を朗讀一人々々神前に於いて奉賽名簿に署名し閉式後神前に整列何れも嚴肅な面持ちで記念の撮影を済した因に同委員會は来る廿三日午前十時から町會議事堂に第一回の協議會を開き種々選舉對策を附議し革正の炬火を点する事となつた

宣誓文

正しき選挙は立憲政治の根幹にして社會の浄化總て源を茲に發す吾人の清き一票は皇運を扶翼し奉る忠君愛國の大道なる所以を自覺し心を洗ひ節を守り選舉肅正委員たる吾等は其職責に鑑み神明に誓て選舉肅正運動の普及徹底せんことを期す
縣社子歙倉神社の大いに

地下採掘

解決案何れ

昨夜委員等歸平

平町地下採掘に關し礦山監督局より提示された解決案三ヶ條中の何れを選ぶべきかを専門家に鑑定を委嘱する爲め九州方面旅行中の既報委員は昨日午後九時卅三分平驛着にて歸平本日午後一時より役場内に參集協議した

高久電話取扱

高久郵便局は廿一日から郵便事務の外電話交換も取扱ふと

夏井川の

改良工事に

本年度割當の

正式許可交付附

豫算は十八萬圓

夏井川本年度の改良工事は豫てより内務省土木局に於いて種々調査中であつたが昨十九日付を以つて豫算十八萬圓を投じ左記箇所を實施するとの正式許可があつた

(左岸)平窪村大字鯨岡字幕ノ内 中鹽 好間村字川中子千五米地内(右岸)平町字上川原 手摺 權現坂地内 好間村字川中子千五米地内

税務主任協議

既報平町外十四ヶ村の税務主任

日小林土木監督所長を訪問
右の工事認可を申請した

小名商事重役

濱商事會社は此程總會を開き役員改選を行つた結果事務取締役が社長代理を行ふ事となつたが役員左の如くである

(事務取締役)小野務平
(取締役)草野良太郎 小野晋平(監査役)草野順平
阿部悦太郎(調査委員)福尾伊太郎 堀越新平 飯塚榮一郎 小松金兵衛 村上淨代

平町人事

△六間門 飯島徳治郎氏長男久義
△新川町 當時四倉町字新町新妻忠夫(四ツ)さん

藤沼醫院

平町・紺屋町
電話五〇七番

期	東	京	大	阪
一節	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
二節	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
三節	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
四節	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
五節	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
六節	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
七節	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
八節	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
九節	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
十節	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇

東京短期(本日)

寄付	大引	高値	安値
新東	三三〇	三三〇	三三〇
大新	三三〇	三三〇	三三〇
新新	三三〇	三三〇	三三〇
日新	三三〇	三三〇	三三〇
帝新	三三〇	三三〇	三三〇
北新	三三〇	三三〇	三三〇
日新	三三〇	三三〇	三三〇
三新	三三〇	三三〇	三三〇
日新	三三〇	三三〇	三三〇
銅新	三三〇	三三〇	三三〇
日新	三三〇	三三〇	三三〇
東新	三三〇	三三〇	三三〇
新新	三三〇	三三〇	三三〇
日新	三三〇	三三〇	三三〇
明新	三三〇	三三〇	三三〇
王新	三三〇	三三〇	三三〇
日新	三三〇	三三〇	三三〇
野新	三三〇	三三〇	三三〇

大會出場

警女選手

本日決定す

第五回縣下女子中等學校体育大會は来る廿九日郡山市安積高女、淑徳高女兩校庭に於て舉行されるが警城高等女學校よりの出場選手は左の通り決定した

小名濱も

側溝計劃

小名濱町は字西町地内町道百間に亘り工費三百圓を投じ側溝工事起工する爲め野町長外町議六名が本廿

歯科口腔外科

レントゲン科

院長 東京齒科 原 精一
醫學士 柏 倉 武男

原齒科醫院

平町土橋通り
電話三一三番

大戦當時の

黄金時代と

匹敵する豊さ

磐炭綴坑夫の収入調べ

點呼を前に

所在不明

實父の心配

内郷村磐炭綴坑夫が最近綴坑採炭夫の収入賃金を調査した處に依ると熟練した者は一ヶ月百三十圓の収入を舉げ平均五十圓程度に達して居り歐洲大戦當時の黄金時代に稍匹敵する懐中勘定であるが労働者間にも非常時氣分が濃厚なので宵越しの金を使はぬといふ様な金使ひの荒ひ者は殆んどなく収入の割合には一般に地味な生活を續けて居ると

海への魁け

郡山から団体

五百卅名来る

試掘許可

石炭や金銀

明廿一日から土用の期節に入るので近頃の天候を氣にし乍も四倉海水浴場にはボツ／＼浴客の姿が見え初め廿八日には團體海水浴のトツブを切つて郡山驛主催の五百三十名が乗込むのをキツカケに炭礦方面及び茨城日立の方面からも團體の照會が同日夜場に相次いで居ると

内郷青年開校

内郷村青年學校の開校式は来る廿二日午後七時より同村尋常高等小學校に於いて舉行

九千七百坪の金銀試掘願は何れも此程許可になつた

三才の幼兒

墜落溺死

自宅の井戸に

澤渡村大字下市萱字新田一三木炭燒武義長男折笠義一(三)は家人の不在中誤つて自家の井戸に墜落溺死した

平豊間のバス

夏期中料金割引

豊間村青年團は平町其他海水浴客の便宜を計り片濱廻りの乗合バスを經營する平町鈴木、野崎兩自動車部と交渉の結果八月一日から卅一日迄左記の如く自動車賃の割引を行ふと

(平一薄磯 沼ノ内間)往復四十錢 片道二十五錢 (平一豊間間)往復五十錢 片道三十錢

衛生夫を

警炭増員

内郷村磐炭綴坑は傳染病豫防の爲め從來坑夫長屋七百戸毎に四名の衛生夫を常置してあつたのを五名に増員し各戸の下水便所等の清掃塵芥焼却を毎日實施する事になつた

遅いが勝ちの

自轉車競争等

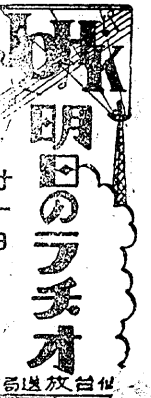
和やかな町民體育大會

明日舉行さる

第七回町民體育大會は愈々明日二十一日午前八時より平第三小學校庭で舉行されるが競技順序は左の通りでパン喰競走や自轉車おそ乗競走等やかかな競技が人氣の焦点となつて居る

△トラク百米 百米豫選 鱈つかみ 五十米

パン食競走 四百米 八百米 競走 一萬米 依運び 東西對抗綱引 百米決勝 役員競走 自轉車おそ乗競走 千五百米 來賓賽つり 八百米 競走決勝 △フリーストールド 走巾跳 砲丸投 走高跳



今日 晩の部
後六〇〇 子供の時間 物語「無人島の秘密」黒川虎夫
後六二五 教育者の体驚 談童心 宮城縣志田郡敷玉小學校家喜代治
◎子供と家庭の夕◎

明日の部
前九三〇 管絃樂交響詩 禿山の夜日本放送交響樂團
前一〇〇〇 日曜勤業松永昇道
前一〇〇四 趣味講座 「船の話」西村真次
前一一〇〇 講演「東北に於ける佛像」福田無染
後一〇五〇 滿洲より 音樂ウクライナ民謡外
後一二〇〇 映畫劇の午後 「やぐさの掟」高田浩吉他 都會の船唄高津慶子他

後三〇〇 東西對抗陸上競技
後六〇〇 子供の時間 連續童話劇「スミトラ物語」魔の洞穴
後七三〇 抒情詩物語 「白い蛾」千葉早智子他
後八〇〇 地唄 新浮船 富崎春昇
後八二〇 ラヂオドラマ 生きた築地座
後八五五 日曜講談「安倍川の血煙」神田山

修養會の講演

各小學校教員より成る修養會では廿日午後一時より第三校に例會を開き共濟病院五十博士の「性の科學的問題」就てと題する講演その他餘興として手品落語等あつた

郡下の史跡を探ね

四日間の天幕生活

浪江小學校訓導一行來郡

石城郡下の史跡地理研究の爲め浪江小學校の門馬訓導外十四名の教員は本月卅一日から四日間の豫定で豊間江名、小名濱、勿來等の海岸にキャンプ生活を試み資料の蒐集に努めると

小名濱の武道

浪實業學校は本廿日より十日間同校道場に柔劍道の上用稽古を行ふが一般の参加者を歓迎

内郷納稅表彰

村では来る廿四日午前十時から村會議事堂で本年度優良納稅組合の表彰式を舉行する

平裁判たより

△石城郡川部村大字小川字根小屋小島炭礦生方澤次郎(四)が東京市瀧川町中里井上武一外二名所有の古レール四十三本價格百三十圓を

平蔵業紹介所報告

回人を求める方
△兒守 十五才 給料面談
△牛乳配達 二十前後 尋卒 月十圓
△粕 四十才 尋卒 給料面談
△出前持 二十才 尋卒 月五十六圓
△職を求むる方
△漁夫 二十八才 尋卒

市原醫院

平町・田町 電話一四番
△果物店員 三十才 高卒
△料理人 二十二才 高卒
△コック 二十七才 高卒



明治太平記

寺島征史 (作) 上野及上野 (監)

第百八十四回

三人の訪客(六)

『その、世界分割の大理想のもとに日本と英國が力をあはせていく事にあんたは異存ありませんか？』
『どうか、もつと具體的にお話し下さい。よくのみにめません』

西郷はとぼけて見せた。
『つまり、日本と英國とが經濟上にも軍事的にもたすけ合はねばならぬ、具體的に申せば日本が、人口の自然増殖を融和するためにつまり暴慢無禮なる朝鮮を征伐し、國力のハケ場をこれに求めなければならぬ、いや朝鮮のみではない、やがて滿蒙にシベリヤに植民地を求めなければなりません』

はてな、おれの征韓論を受賣してゐるな……と、西郷はくすぐつたい氣持になつた。
『英國も、多年同様の道をたどつて來ました。南阿に南洋に、東亞に、植民地を求めて人口を融和し國際の經濟戰爭につねに勝つて來ました。丁度日本も今年年の英國の執つた植民政略を

實際に行はねばならん時機に到達してをります。あなたの征韓論は實に日本の指針盤であります』
『……』
そのお世辭のあとがあぶないぞ……と西郷は要心深く



た、日本と英國が力をあはせていく事にあんたは異存ありませんか？

が、實際にこれを決行する段になるとなか／＼至難であらうと思ひます』
『いや、わしの征韓論にそんな遠大な理想はありません。たゞ日ごろの無禮をこらしめてやらうといふにすぎません』
『とまあ、いふて置かなければ支那やロシアがうるさい。とにかくあんたの世界統一、天下光宅の御理想はこのパークスによくのみ込めます。賛成です。たゞ日本と英國が手をつなぎ合ひ協力して世界統一の理想、

く、いよ／＼言葉すくになつた。反對にパークスは巧に日本語をあやつり征韓論を賞揚する、その後で、『しかし、日本が、いやあんなが堂々と征韓論を開陳され、新しい制度をうみ出した失業浪人に途をひらいてやらうとなさる遠大な理想に深く敬意を表します

信念を實現したいものですそれについて……』
ホイきたな、と思つた。それについて何はともあれ世界の大勢に通ずる爲めに一度歐洲を漫遊されてはどうか……と友情らしい熱心さでいよ／＼このおれに外遊をすすめるのだな……と西郷は思つた。

だがパークスのすゝめるのは外遊ではなく豫想外なものだつた。彼はおもむろに口を開いた。
『噂にきけば日本政府部内において當今征韓是非の論がやかましく、互に激論を重ねてをるさうですが、形勢は結局いづれに傾くでせうかな』
『さア、征韓、非征韓ともこれに楯の両面で、いづれに理があるかはわかりませんが、まあ、何かさういふ議題でもめつけてがや

いふてをるのが、幼稚な日本の政治家の頭なんですまはッは……』
『さう、お逃げなさらぬでもよろしい、あんたが征韓派の頭目となつて眞向から反對派の大久保さん等に當つて居られる事を聞いて居ります、わたくしあんたのその征韓の大抱負に、意氣に賛成です、どうかあくまで反對派の意見を打ちくちいて見事國外に兵をすゝめてくだしやい』

盛夏服の大賣出し

- 評判のよい信用堂のレデーメイド
- 背 單背廣三ツ揃(シルクボーラ) 拾五圓
 - 廣 單背廣上下(シルクボーラ) 九圓五拾錢
 - 服 背廣上衣折衿(紺、黒、セル) 四圓五拾錢
 - 立衿 紺黒セル上衣、參圓五拾錢
 - 上衣 キー、一圓四拾錢
 - 婦人ホームドレス又男女ベビー服大特賣中
 - 男小供カッター上衣四十錢
 - 外豊富に取揃へて有りますから御散歩がてら一度信用堂へ御立寄り下さい。
- お電話が有り次第御届け御覽に入れます。
洋服の御用命は 信用堂へ
平町三丁目 電話六一三番

増車御披露

陸の王者として定評ある流線型ダツチブラザース二輛増車致しました。タクシーの御使用の際は新車揃の尼子タクシーに御用命を御待致して居ります。大型貸切専門車も御座います。

子子タクシー

電話六四〇

別製氷おた福豆

アイスクリーム あづきアイス ミルクセーキ
クリームソーダ水 氷あづき ソーダ水色々
冷コーヒー みつ豆
御土産にクリームもなか
ほどよく香りのよい
宇治名産氷ひき茶を
初めました、何卒御試食下さる様……

魚清食堂

平二番 安齊 昌通
電話六三三

安齊外科醫院

性 病 科
光線科
外科
平町 田町
電話四七五番

丹野齒科醫院

丹野 淳 夫
平野前 電話三八五番

外科 内臓外科

レントゲン線
病室完備
醫學博士 諸 橋 鐵 彌
新川町二七 (電四六四)